

“日本一元気な町づくり”
ふる里復興・創生「飛翔の年」

—いのちを守り、人を活かし・未来をつくる町—

令和2年第2回広野町議会定例会が6月11日から12日までの会期で開催されました。一般質問を経て議案審議がなされ、すべての議案が原案どおり可決されました。

会期初日には、遠藤町長が第1回定例会（3月開催）以降の町政経過報告を行いました。町民の皆さまにお伝えしたいことがたくさん盛り込まれていますので、主の内容の抜粋を掲載します。



遠藤町長

定例会

新型コロナウイルス
感染症対策本部

日本国内はもとより全世界において感染拡大した新型コロナウイルス感染症は、福島県において3月7日に1例目の罹患者が確認され、4月16日、広野町においては1例目の罹患者が確認されました。同日福島県を含む40県に緊急事態宣言が発令され、日本全国に緊急事態宣言が発令されました。町は、国・県の緊急事態宣言のもと、4月に入ってから二度にわたり町長メッセージを発し、町民に感染拡大防止の理解と協力を求めました。また、爆発的な感染拡大を防ぐため、大型連休を前に広野火力発電所プラントでの作業従事者に向け、「不要不急の外出の自粛」、「繁華街への外出の自粛」、「都道府県をまたいだ不要不急の移動の自粛」を強く要請し、日常の安全確認指差呼称に加え、コロナ対応指差呼称の徹底、国に対しては、医療機関における電離放射線障害防止規則の健康診断期日延長による医療機関の「3密」回避要望等、適切な対策に取り組んでまいりました。



火力発電所構内での要請活動

一人当たり10万円を支給する特別定額給付金制度が設立されたことに伴い、復興企画課内に特別定額給付対策室を設置し、新たな組織体制の下、給付業務を開始しました。4月27日を基準日とした対象世帯数は2177件であり、6月9日時点での申請件数は2002件、申請率は91・96パーセントとなっております。給付件数は1692件、給付率は77・72パーセントとなっております。

5月12日、東日本大震災からの復興の礎、町民帰還の先駆けとして尽力された町内の飲食業及び旅館業を営む中小企業者等が、新型コロナウイルス感染症により売上が落ち込み厳しい経営を余儀なくされていることを踏まえ、営業施設の家賃等について支援することを目的とした広野町新

型新型コロナウイルス対策中小企業者等支援事業補助金を創設し、5月15日から申請受付を開始しました。5月31日現在の補助対象事業者39件に対し申請件数は6件でした。6月5日に書類審査を実施し、交付決定した5件に対する支払いを6月10日に行いました。

また、新型コロナウイルス感染症により事業活動に影響を受けた中小企業者等が、その経営基盤の安定化を図るため、福島県の新型コロナウイルス対策特別資金に係る融資を受ける場合に支払う信用保証料に対する補助金、「広野町新型コロナウイルス対策特別資金信用保証料補助金」も創設し、申請受付を開始しました。6月5日現在、補助金申請はありません。

5月14日に福島県を含む39県が緊急事態宣言解除、5月21日に3府県が緊急事態宣言解除、5月25日には5都道県も緊急事態宣言が解除され、外出の自粛や施設の使用制限を緩和しつつ「新しい生活様式」の定着を図り、これまで休業を余儀なくされた飲食店をはじめとする中小企業及び個人事業者への支援を継続し、社会の経済活動を活性化させることに向け国は、特別定額給付金・持続化給付金・

5月22日、来庁者の多い窓口や町民バスの車内に、新型コロナウイルスを不活化させるためのオゾンガスを発生させる空気清浄器を設置し、来庁者や町民バス乗客が安心して利用できるよう取り組みました。



パーティションの設置

新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ経過について、5月28日には広野駅環境美化推進協議会において、6月3日には広野町振興公社株主総会において、6月4日には国保運営協議会において、6月8日には社会福祉協議会理事会、評議会、行政区長会議において、6月9日には広野町消防団分団長、隊長会議においてそれぞれ報告し、「新しい生活様式」の定着に向け、理解を共有しました。

総務課

4月21日、新型コロナウイルスが全国的に感染拡大をすすめる中、庁舎内の窓口業務における感染予防対策として、透明アクリル製のパーティションを町民税務課、健康福祉課、出納室に設置し飛沫感染の予防に取り組みました。

5月22日、来庁者の多い窓口や町民バスの車内に、新型コロナウイルスを不活化させるためのオゾンガスを発生させる空気清浄器を設置し、来庁者や町民バス乗客が安心して利用できるよう取り組みました。

復興企画課

2月25日、人気アイドルグループ「ももいろクローバーZ」の玉井詩織さんが役場を訪れ、4月開催予定のライブイベントの告知と意気込み、地域交流への積極的な参加にご理解をいただきました。この後、二ツ沼総合公園のパークゴルフも体験して頂きました。4月18、19日開催を予定していたライブイベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、福島県緊急事態措置に基づき、一年延期となりました。

2月29日、二ツ沼総合公園において、みんなでジョギングやウォーキングをするパークランのイベントを開催しました。当日は、約40名の参加があり、土曜日の早朝にさわやかな汗をかきながら、交流を深めることができました。今後は、地元のスポーツクラブと連携し、二ツ沼総合公園を会場に定期的に開催し

3月9日、東日本大震災の被災地へ様々な支援活動を行っている一般社団法人ほのぼの運動協議会の作間由美子事務局長が来訪され、ふたば未来学園高校や磐城農業高校、会津農林高校、岩瀬農業高校の生徒と共に育てたワスレナグサの苗を寄贈頂きました。ワスレナグサの苗、400株は二ツ沼総合公園の花壇へ植栽しました。



映画「春を告げる町」

4月24日、「町民有志」と「和の会」の皆さんから、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、医療・福祉関係で頑張っている方へ手作りマスク170枚の寄贈を頂き、町内の医療機関や社会福祉協議会へお届けいたしました。

5月27日、広野町と富岡町の有限会社三輪鉄工所との工業団地進出に向けた連携基本協定の締結式を執り行いました。代表の三輪秀男様から、雇用の積極的な確保や広野町

定例会